

会議・打合せ記録

会議録	平成20年度 第1回豊田市公共交通会議
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 豊田市公共交通会議規約について 3. 豊田市公共交通基本計画の概要について 4. 議事 <ul style="list-style-type: none"> 【協議案件】 (1) 平成20年度における取組みについて (2) 地域バス等路線の再編について <ul style="list-style-type: none"> ① 高岡ふれあいバス ② 稲武地域バス ③ 旭地域バス 【報告案件】 (1) バス停名称の変更について (2) 平成20年4月運行開始基幹バス路線の利用状況について 5. その他 <ul style="list-style-type: none"> (1) 第2回会議の開催時期について 6. 閉会
日 時	平成20年 6月18日(水) 15:00~17:00
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 南51会議室
出席者 (敬称略)	<p>【委員】 荻野 弘 (豊田工業高等専門学校)</p> <p>藪押 光市 (豊田商工会議所)</p> <p>野田 宏治 (豊田工業高等専門学校)</p> <p>寺田 義弘 (豊田市区長会)</p> <p>近藤 晃 (豊田市老人クラブ連合会)</p> <p>澤田恵美子 (豊田市消費者グループ連絡会)</p> <p>梅村 松男 (豊田市社会福祉協議会)</p> <p>梶原雅一郎 (愛知環状鉄道株式会社)</p> <p>加藤 直樹 (名鉄バス株式会社)</p> <p>堀合 正行 (豊栄交通株式会社) (代理: 加藤)</p> <p>牛田 昌弘 (愛知県タクシー協会豊田支部)</p> <p>長崎三千男 (愛知県バス協会) (代理: 長縄)</p> <p>小林 宏 (愛知県交通運輸産業労働組合協議会) (代理: 石黒)</p> <p>多田 直紀 (国土交通省中部運輸局愛知運輸支局) (代理: 加藤)</p> <p>内藤 洋 (国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所)</p> <p>本多 幸治 (愛知県警察 足助警察署)</p> <p>宮崎 秀嗣 (愛知県地域振興部交通対策課) (代理: 渡邊)</p> <p>川本 寛 (愛知県豊田加茂建設事務所)</p> <p>大山 明夫 (愛知県豊田加茂建設事務所足助支所)</p> <p>吉橋 寿博 (豊田市都市整備部)</p> <p>【事務局】 豊田市 都市整備部交通政策課</p>

資 料	1. 次第・配席図 2. 資料1：豊田市公共交通会議 規約 3. 資料2：豊田市公共交通基本計画【概要版】 4. 資料3：豊田市公共交通会議 平成20年度第1回会議資料
-----	---

(要約)

- 1 豊田市公共交通会議規約について
- 2 豊田市公共交通基本計画の概要について

○事務局 資料に基づき説明

○委員 資料2「豊田市公共交通基本計画 概要版」のp2に掲載してある各交通機関の運行本数等について、平成17年度当時のサービス水準が記載されておりますが、現在は、愛知環状鉄道の部分複線化事業等が完了し、運行本数等も増えています。

○委員 最新の豊田市市民意識調査においても、公共交通対策に対する市民の満足度が低いという結果が得られてしまっています。おいでんバスが徐々に定着されつつありますが、バスに関する施策のみでなく、鉄道や新交通システムなどに関する施策についても前向きに推進していかないと、なかなか満足度が向上しないと思います。是非、前向きに鉄道等に関する施策を進めていただきたい。

○事務局 まさにそのとおりだと思っており、名鉄三河線の複線化構想や新交通システムなどについて、積極的に検討を進めていきます。検討を進めるにあたっては、本会議にも進捗状況等を報告していきたいと考えております。

【議事】

(協議案件)

- (1) 平成20年度における取組みについて

○事務局 資料に基づき説明

○委員 平成20年4月に廃止された名鉄バス路線を、おいでんバスという形で再編していただいた点について、感謝します。今後の市内のバス路線については、交通事業者の経営努力で、なんとか維持していきたいと思っております。ただ、今後も旧市内の東部や南部において、おいでんバス路線の新設を検討しているとのことですが、その際は、路線の競合回避や運賃体系の整合などについて、事前に調整するなどのご配慮をいただきたい。

○事務局 交通事業者の皆様と、事前に十分な調整をさせていただきます。

○委員 高岡ふれあいバスにおいて、地域組織が主体となり、「地域互助金」を集めて定期券の購入費を補助するという取組みを実施するとのことだが、それを決定したのはどの機関ですか？

- 事務局 当該バスを主体的に運行している地域組織である「ふれあいバス運営協議会」において決定しました。
- 委員 私の地域では、若林駅周辺の違法駐輪や違法駐車に頭を悩ませている。将来的に若林駅周辺の高架化などが検討されているとのことですが、その際には違法駐車対策なども実施していただきたい。
- 事務局 高架化に併せて駅周辺を面的に整備する際、駐車対策等について総合的に検討します。
- 委員 ハードを整備するのみでなく、バス停や上屋などを地域で維持管理していくための組織や人材を確保することも重要だと思います。また、民間資金を導入した広告つきの上屋の整備や、自分たちのバス停だという意識によるバス停などへのベンチの設置などが重要だと考えます。
- 事務局 地域で維持管理する例として、豊田市では愛知環状鉄道の駅前トイレを地元の老人クラブが清掃をしたり、下山地区の利用促進協議会が、地域で協力金を集めてバス停にベンチを設置するという取組みなどが行われています。また、広告付きのバス停について、本市においても検討を進めておりますが、大都市のバス停と比較した場合の利用者数の違いにより、広告主が現れるかどうかは現在の課題となっております。
- 委員 地域が主体となってバス停を活用し、自分たちのバスという「マイバス意識」を持って、バス停周辺の草刈りや防犯対策などをやってもらえるというのも良いと思います。
- 委員 利用促進策として、継続的な広報活動や「一日乗車券」や「観光乗車券」などの検討も進めていただきたいと思います。

(2) 地域バス等路線の再編について

- 事務局 資料に基づき説明
- 委員 今回の議事となっている各路線の再編案は、すでに各地域の運営・検討組織において検討され、地元での合意が形成された案を報告いただいているという認識でよろしいでしょうか。
- 事務局 そのとおりです。
- 委員 高岡ふれあいバスの運行事業者について、豊田市生活交通運行事業者協会となっておりますが、将来的にもその形態は変わらないのでしょうか。また、運行車両は、交通事業者の所有する車両を使用するのでしょうか。
- 事務局 将来的には、他のバス路線と同じように、事業者選定を実施して、運行事業者を決定します。また、車両について、基幹バス路線は市で購入・所有するおいでんバス車両を使用しますが、地域バス等路線は交通事業者の所有する車両を使用します。
- 委員 山間部を走る路線について、バス停の設置箇所を選定する際に、土砂災害の恐れのある場所への設置は避けていただくよう留意していただきたい。危険箇所は相当数あり、現在進めている調査の結果を順次公告していくので、利用者の安全に配慮して調整していただきたい。
- 事務局 可能な限り安全な箇所にバス停を設置できるように調整させていただきます。
- 委員 車イス対応のバリアフリー車両の導入は進められているのでしょうか。
- 事務局 車両の更新に合わせて、順次バリアフリー車両へ切り替えていく方針です。
- 委員 バスのダイヤを設定する際に、運転手の連続乗務の規制などについても留意していた

だきたい。また、資料に掲載されている時刻表の案について、会議当日では詳細に見ることが難しいため、可能な限り事前に会議資料を配布していただくとありがたいと思います。

(報告案件)

(1) バス停名称の変更について

(2) 平成20年4月運行開始基幹バス路線の利用状況について

【その他】

(1) 第2回会議の開催時期について

○事務局 次回会議の開催時期は10月頃を予定しております。